

春の日本の平均気温と日本近海の平均海面水温の
記録的な高温について
～統計開始以降最も高い平均気温～

2023年の春（3～5月）、日本の平均気温は統計を開始した1898年以降で最も高い記録、日本近海の平均海面水温は統計を開始した1982年以降で第3位タイの高い記録と、いずれも記録的な高温となりました。

2023年（令和5年）春（3～5月）の日本の平均気温の基準値からの偏差は+1.59℃となり、春の気温としては統計を開始した1898年以降で最も高かった1998年（+1.24℃）を上回り、第1位の記録となりました。

また、日本近海の3～5月の平均海面水温の平年差は+0.6℃となり、統計を開始した1982年以降で、2021年と並んで高い方から第3位タイの記録となりました。

このように日本の平均気温が高くなったことは、日本の北から寒気が南下しにくく、暖かい空気に覆われやすかったことが主な要因と考えられます。日本近海の平均海面水温については、暖かい空気に覆われたことのほか、本州東方で海洋内部の水温が高い状態が持続したことも要因として考えられます。

地球温暖化の進行に伴い、このような記録的な高温が発生しやすくなっています。

気象庁では、大気、海洋の観測、解析を続けていくとともに、気候変動対策の基盤となる科学的知見を提供してまいります。

<問合せ先>

日本の平均気温について

大気海洋部気候情報課 平井

電話 03-6758-3900（内線 4542）

日本近海の平均海面水温について

大気海洋部環境・海洋気象課海洋気象情報室 金子

電話 03-6758-3900（内線 4745）